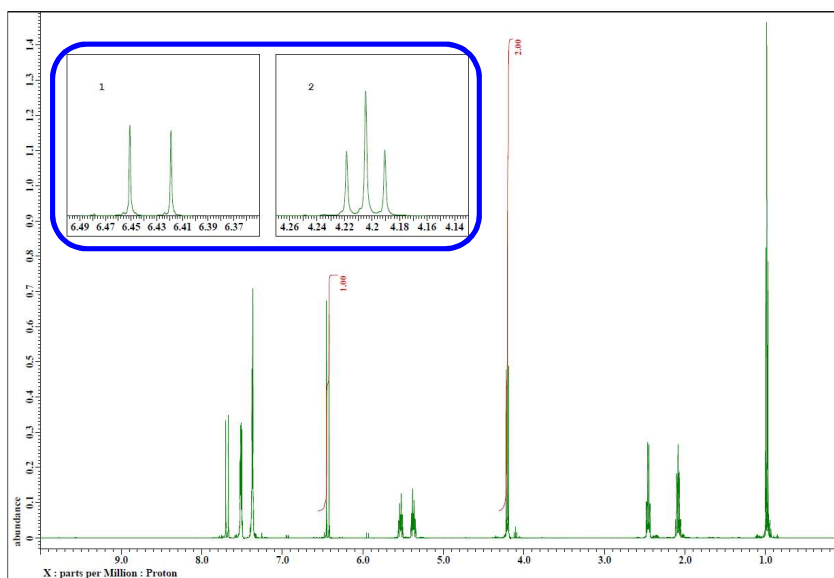




<データボックスの詳細設定>

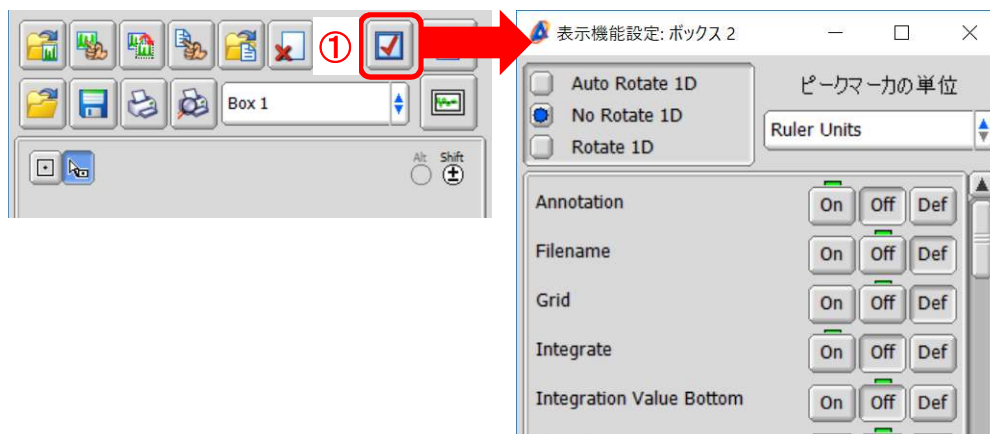
Deltaでは、レポートデータのレイアウトを自由に変更することができます。ここでは「ページレイアウトエディタ」機能について、データボックスの詳細設定について紹介します。例えば、拡大スペクトルのみ表示設定を変更してレポートデータを作成することができます。以下の図は、拡大スペクトルデータのみ積分データ、Y軸などを非表示にした例です。



★ 「ページレイアウトエディタ」でのレイアウトデータの作成については、Delta Tips 「印刷レイアウトの作成 (1)」(⇒NMDT_0068)などを参照してください。

① データボックスを選択し、 [表示機能設定]ボタンをクリックする。

⇒ 「表示機能設定」ウインドウが表示されます。機能のON/OFFを選択できます。



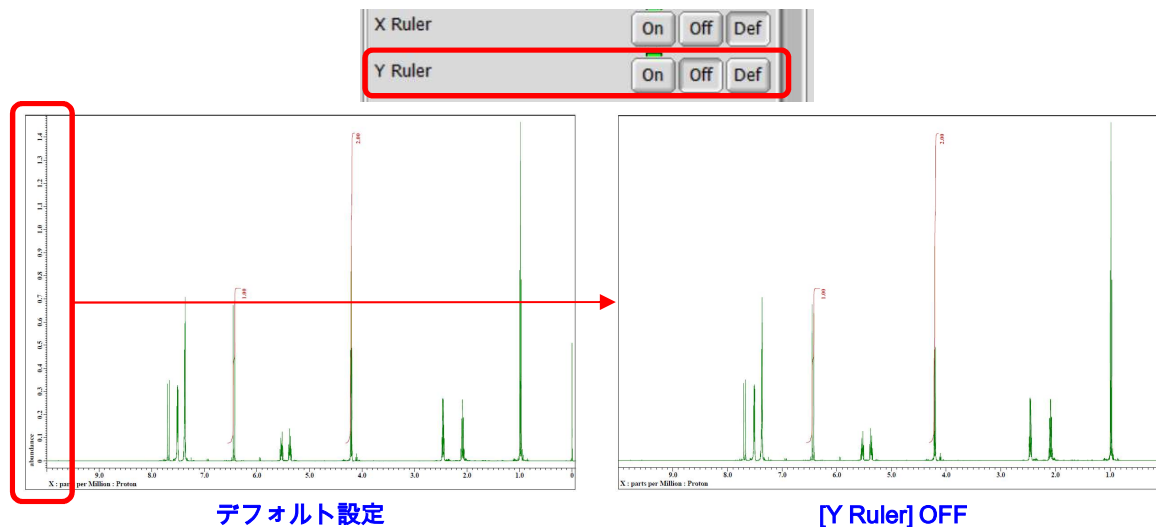
「表示機能設定」機能の使用方法を紹介します。

ルーラーの表示/非表示:

[X Ruler]: X軸の表示ON/OFF

[Y Ruler]: Y軸の表示ON/OFF

下図は, [Y Ruler]: OFFに設定した例です。



ルーラー情報の表示/非表示:

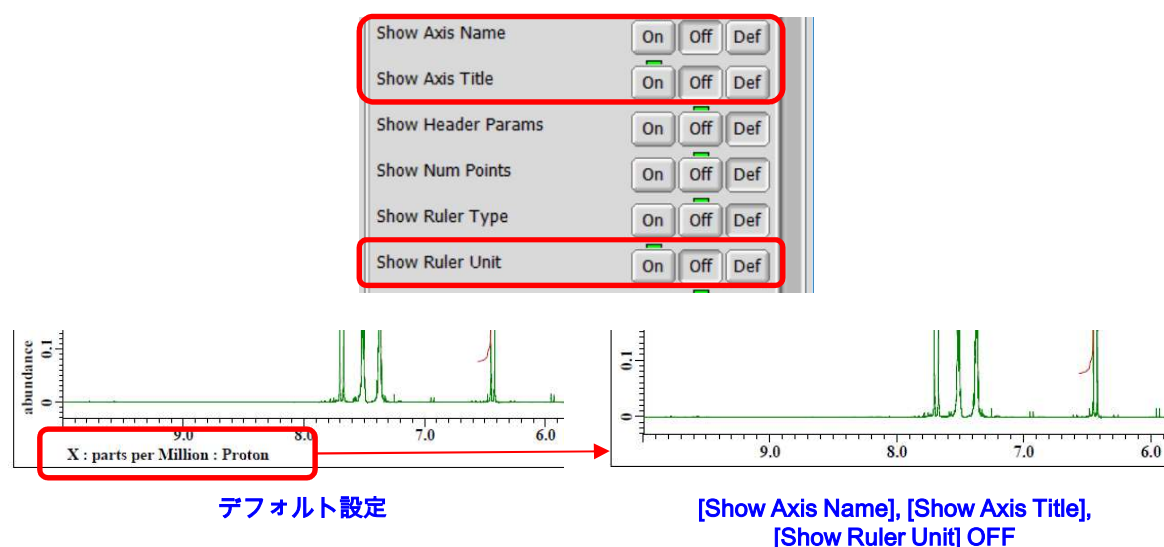
[Short Ruler Units]: ルーラー単位の簡略化表示ON/OFF (例 parts per Million → PPM)

[Show Axis Name]: ルーラー名 (X,Y,Z, etc.) の表示ON/OFF

[Show Axis Title]: ルーラータイトルの表示ON/OFF

[Show Ruler Unit]: ルーラー単位の表示ON/OFF

下図は [Show Axis Name], [Show Axis Title], および [Show Ruler Unit] をOFFに設定した例です。





積分データの表示/非表示:

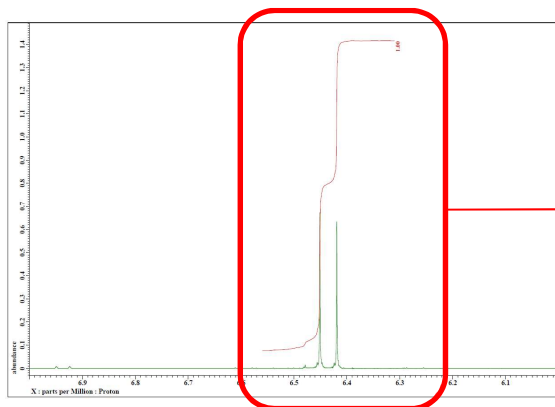
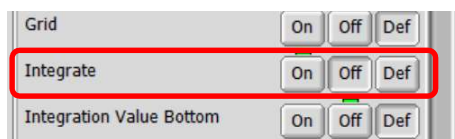
[Integrate]: 積分データの表示ON/OFF

[Integration Value Bottom]: 積分値をルーラー上に表示/スペクトル上に表示

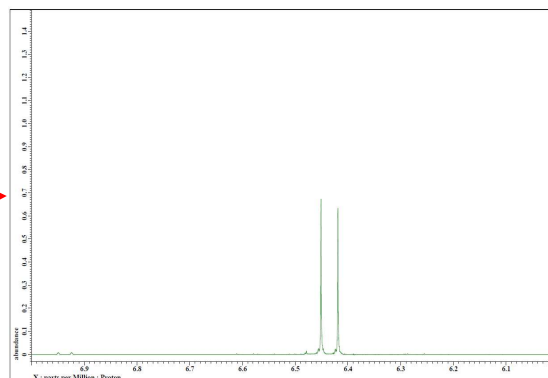
[Integration Line]: 積分曲線の表示ON/OFF

[Integration Value]: 積分値の表示ON/OFF

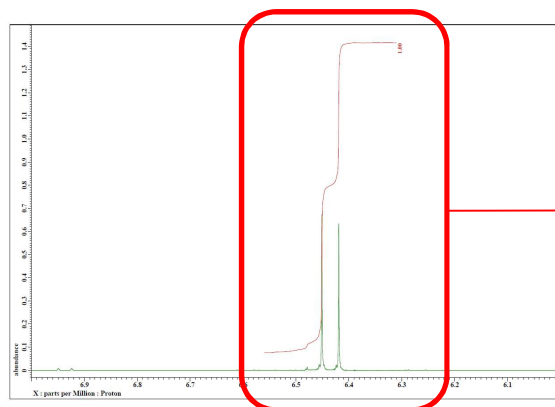
下図は [Integrate] をOFFに設定した例, および [Integration Value Bottom]: ON, [Integration Line]: OFFに設定した例です.



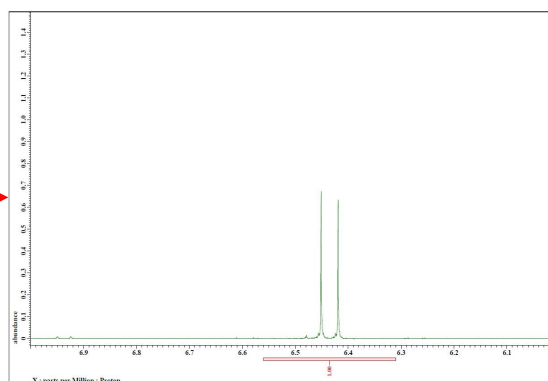
デフォルト設定



[Integrate] OFF



デフォルト設定



[Integration Value Bottom] ON
[Integration Line] OFF

★ レイアウトデータの保存についてはDelta Tips「印刷レイアウトの作成 (1)」(⇒NMDT_0068)を参照してください.